

科目名	生理学 2							年度	2025
英語科目名	Physiology 2							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	塚田 愛	教員の実務経験		有	実務経験の職種		薬剤師		
【科目の目的】									
生体の正常機能を理解しなければ異常である「病気」は理解できないため、生理学を学ぶことで単に生体の機能を解明するだけでなく、解明された知見をもとに生命そのものの存在理由を明らかにする学問を習得することで将来の柔道整復師としての施術の幅を広めることを目的とする。									
【科目の概要】									
人体の生命活動に必要な細胞等の役割を理解し人体の基礎的生理学を学びます。									
【到達目標】									
1つ目に細胞の機能を維持している仕組みを理解することである。2つ目に脳、脊髄から身体各部へ興奮(信号)を伝え、また身体各部からの刺激を脊髄、脳へ伝える白色の神経線維の束である神経の基本的機能を理解することである。3つ目に運動するのに必要な、収縮作用をもった器官である筋肉の働きを理解することを到達目標とする。									
【授業の注意点】									
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	筋の種類について完全に理解している。	筋の種類について大体的に理解している	筋の種類について部分的に理解している。	筋の種類についての理解がやや不足している。	筋の種類について理解していない。				
到達目標 B	反射について完全に理解している。	反射について大体的に理解している	反射について部分的に理解している。	反射についての理解がやや不足している。	反射について理解していない。				
到達目標 C	脊髄神経と脳神経について完全に理解している。	脊髄神経と脳神経について大体的に理解している	脊髄神経と脳神経について部分的に理解している。	脊髄神経と脳神経についての理解がやや不足している。	脊髄神経と脳神経について理解していない。				
到達目標 D	自律神経について完全に理解している。	自律神経について大体的に理解している	自律神経について部分的に理解している。	自律神経についての理解がやや不足している。	自律神経について理解していない。				
到達目標 E	脳について完全に理解している。	脳について大体的に理解している	脳について部分的に理解している。	脳について理解がやや不足している。	脳について理解していない。				
【教科書】									
教科書（生理学－一般社団法人全国柔道整復学校協会監修－）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

